



統計法に基づく一般統計調査



厚生労働省
統計法に基づく国の統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

令和3年度 全国ひとり親世帯等調査(母子世帯用)

(令和3年11月1日現在)

調査のお願い

- この調査は、母子世帯の状況を知るための大切な調査です。
○この調査では、令和3年11月1日現在の状況をお答えください。
○質問の意味や記入のしかたがわからないとき、あるいは疑問に思うことがありましたら、調査員または福祉事務所におたずねください。
○お答えいただいた内容については、統計以外の目的には使用いたしませんので、ご協力をお願いいたします。
○なお、この調査票は、母子世帯の母の方が記入してください。

※ 調査員が記入

調査員氏名												
都道府県					福祉事務所	福祉事務所						
指定都市名					担当課名	担当課						
中核市					電話番号	() - -						
地区番号										世帯番号		

(記入上の注意)

- 調査票の記入は、黒か青のボールペンで記入してください。
- お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
- 口の中には、あてはまる数字を記入してください。
- 障害などのためにご自分で記入できない方については保護者(介護者)等が協力して回答してください。

【ご確認】

あなたの世帯は母子世帯に該当しますか。どちらか1つに○をつけてください。

- 該当する → 次のページに進み、最後の質問までお答えください。
- 該当しない → これで調査は終わりです。同封の返信用封筒でご返送ください。ご協力ありがとうございました。

※ 以下、質問にお答えください。

質問1 あなたの生年月を記入してください。

1. 昭和			年			月	生
2. 平成			年			月	生

【世帯の状況についておたずねします】

質問2 あなたのお子さん(令和3年11月1日現在で20歳未満の者に限る。)の生年月
を記入し、性別、同居の別、就学・就労状況欄のあてはまるもの1つに○をつけてください。

生年月日		性別	同居の別	就学・就労状況
1. 平成		1. 男	1. 同居	01. 小学校入学前 02. 小学校 03. 中学校
2. 令和		2. 女	2. 別居	04. 高校 05. 高等専門学校 06. 短大
				07. 大学 08. 専修学校・各種学校
				09. 就労 10. その他
1. 平成		1. 男	1. 同居	01. 小学校入学前 02. 小学校 03. 中学校
2. 令和		2. 女	2. 別居	04. 高校 05. 高等専門学校 06. 短大
				07. 大学 08. 専修学校・各種学校
				09. 就労 10. その他
1. 平成		1. 男	1. 同居	01. 小学校入学前 02. 小学校 03. 中学校
2. 令和		2. 女	2. 別居	04. 高校 05. 高等専門学校 06. 短大
				07. 大学 08. 専修学校・各種学校
				09. 就労 10. その他
1. 平成		1. 男	1. 同居	01. 小学校入学前 02. 小学校 03. 中学校
2. 令和		2. 女	2. 別居	04. 高校 05. 高等専門学校 06. 短大
				07. 大学 08. 専修学校・各種学校
				09. 就労 10. その他
1. 平成		1. 男	1. 同居	01. 小学校入学前 02. 小学校 03. 中学校
2. 令和		2. 女	2. 別居	04. 高校 05. 高等専門学校 06. 短大
				07. 大学 08. 専修学校・各種学校
				09. 就労 10. その他

質問3 あなたの世帯人員は何人ですか、該当する区分欄ごとにそれぞれの人数を記入してください。(あなた本人と質問2に記入したおさんは除きます。)

あなたの父母	あなたの兄弟姉妹	あなたの祖父母	その他
人	人	人	人

質問4 あなたが母子世帯になった時期を記入してください。

1. 平成			年			月
2. 令和			年			月

質問5 あなたが母子世帯になった理由について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 死別 生別(2. 協議離婚 3. 調停離婚 4. 審判離婚 5. 裁判離婚
6. 未婚 7. 遺棄 8. 行方不明 9. その他) |
|---|

【住居の状況についておたずねします】

質問6 あなたの住居の状況について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 持家(本人名義) 2. 持家(他人名義) 3. 公営住宅
4. 公社・公団住宅 5. 社宅など 6. 賃貸住宅 7. 間借 8. 同居
9. その他 |
|---|

質問7 公営住宅に入居していない方におたずねします。

公営住宅の入居の希望について、あてはまるものに○をつけてください。

なお、「2. 希望する(応募した経験なし)」と「4. 公営住宅を知らなかった」、「3. 希望しない」と「4. 公営住宅を知らなかった」は重複回答することができます。

- | |
|--|
| 1. 希望する(応募した経験あり) 2. 希望する(応募した経験なし)
3. 希望しない 4. 公営住宅を知らなかった |
|--|

質問8 公営住宅を希望しない方と、希望するものの応募した経験のない方におたずねします。

公営住宅を希望しない理由又は希望するものの応募しない理由のうち、あてはまるものすべてに○をつけ、「7. その他()」の場合は、()内に具体的に記入してください。

- | |
|--|
| 1. 収入などの応募要件を満たしていないため
2. 入居倍率が高く受からないと思ったため
3. 応募の手続きが煩雑又は分からないため
4. 公営住宅も含め、公的支援を受けることに抵抗があるため
5. ご自身の通勤や、他の支援サービスを利用することが不便になるため
6. 子どもの通園・通学が不便になるため
7. その他() |
|--|

【仕事と収入についておたずねします】

質問9 あなたの雇用形態についておたずねします。

ア あなたが母子世帯になる前の雇用形態について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|--------------|------------------|---------------|--------|--------|
| 1. 正規の職員・従業員 | 2. 労働者派遣事業所の派遣社員 | 3. パート・アルバイト等 | | |
| 4. 会社などの役員 | 5. 自営業 | 6. 家族従業者 | 7. その他 | 8. 不就業 |

補問1 母子世帯になる前に就業していた方(アで1～7と答えた方)におたずねします。

あなたは母子世帯になったことを契機として転職をしましたか。

- | |
|------------|
| 1. 転職した |
| 2. 転職していない |

補問2 理由のうちあてはまるものすべてに○をつけ、「12.その他()」の場合は、
()内に具体的に記入してください。

- | | |
|------------------------|------------------|
| 01. 収入がよくない | 02. 勤め先が自宅から遠い |
| 03. 健康がすぐれない | 04. 仕事の内容がよくない |
| 05. 職場環境になじめない | 06. 労働時間があわない |
| 07. 社会保険がない又は不十分 | 08. 休みが少ない |
| 09. 身分が安定していない | 10. 経験や能力が発揮できない |
| 11. 自営業等で就業していたが離婚したため | |
| 12. その他() | |

補問3 理由のうち最も大きな理由の番号を番号記入欄に記載してください。

番号記入欄 →

イ あなたの現在の雇用形態について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|--------------|------------------|---------------|--------|--------|
| 1. 正規の職員・従業員 | 2. 労働者派遣事業所の派遣社員 | 3. パート・アルバイト等 | | |
| 4. 会社などの役員 | 5. 自営業 | 6. 家族従業者 | 7. その他 | 8. 不就業 |

(「8. 不就業」に○をつけた方は質問16へ)

質問10 あなたの持っている各種資格等の有無について、あてはまるものに○をつけてください。

1. 有	2. 無
------	------

-----> 補問1 資格等がある場合のみ、あてはまるものに○をつけてください。

現在有している資格等が
1. 直接仕事に役立っている
2. 仕事に役立っていない

補問2 あなたがお持ちの資格等について下記の中から3つまで番号で記入してください。

--	--	--

01.簿記	02.ホームヘルパー	03.教員	04.看護師
05.准看護師	06.調理師	07.理・美容師	08.パソコン
09.外国語	10.栄養士	11.介護福祉士	12.保育士
13.理学療法士	14.作業療法士	15.大型・第二種自動車免許	
16.医療事務	17.行政書士	18.その他	

質問11 あなたの主な仕事にあてはまるもの1つに○をつけてください。

01. 管理的職業従事者	02. 専門的・技術的職業従事者	03. 事務従事者	04. 販売従事者
05. サービス職業従事者	06. 保安職業従事者	07. 農林漁業従事者	
08. 生産工程従事者	09. 輸送・機械運転従事者	10. 建設・採掘従事者	
11. 運搬・清掃・包装等従事者			
12. その他の就業者[12-1.在宅就業者 12-2.個人事業主 12-3.その他]			

質問12 あなたの主な勤務先の本社、支社、工場などを含めた企業全体の規模について、
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|-------------------|-----------|-------------|
| 1. 1～5人 | 2. 6～29人 | 3. 30～99人 | 4. 100～299人 |
| 5. 300～999人 | 6. 1,000人以上または官公庁 | 7. その他 | |

質問13 あなたの帰宅時間(自宅で営業している場合には終業する時間)は、何時頃ですか、
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|----------------|------------------|
| 1. 午後6時以前 | 2. 午後6時～8時までの間 | 3. 午後8時～10時までの間 |
| 4. 午後10時～12時までの間 | 5. 深夜・早朝 | 6. 交代制勤務などで一定しない |

質問14 あなたは現在、主な仕事について、転職する希望がありますか、あてはまるもの1つ
に○をつけてください。

- | |
|-------------------|
| 1. 現在の仕事を続けたい |
| 2. <u>仕事を变えたい</u> |
| 3. 仕事をやめたい |

補問1 理由のうちあてはまるものすべてに○をつけ、「12.その他()」の場合は、
()内に具体的に記入してください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 01. 収入がよくない | 02. 勤め先が自宅から遠い |
| 03. 健康がすぐれない | 04. 仕事の内容がよくない |
| 05. 職場環境になじめない | 06. 労働時間があわない |
| 07. 社会保険がない又は不十分 | 08. 休みが少ない |
| 09. 身分が安定していない | 10. 経験や能力が発揮できない |
| 11. 降格 | 12. その他() |

補問2 理由のうち最も大きな理由の番号を番号記入欄に記載してください。

番号記入欄



--

質問15 あなたは現在、主な仕事以外に別の仕事(副業)をしていますか。

- 1. していない
- 2. している

補問1 どのような副業をしていますか。あてはまる主なもの1つに○をつけてください。

- 01. 管理的職業従事者 02. 専門的・技術的職業従事者 03. 事務従事者 04. 販売従事者
- 05. サービス職業従事者 06. 保安職業従事者 07. 農林漁業従事者
- 08. 生産工程従事者 09. 輸送・機械運転従事者 10. 建設・採掘従事者
- 11. 運搬・清掃・包装等従事者
- 12. その他の就業者[12-1.在宅就業者 12-2.個人事業主 12-3.その他]

補問2 副業から得る年収の金額を記入してください。なお、詳細な金額が分からない場合は、概ねの金額で記入してください。

約		万円
---	---	----

質問16 現在、不就業の方(質問9のイで「8. 不就業」と答えた方)におたずねします。
あなたには就職する希望がありますか、あてはまるものに○をつけてください。

- 1. 就職したい(求職中である)
- 2. 就職したい(求職中でない)
- 3. 就職は考えていない

補問1 就職していない(就業できない)理由のうちあてはまるものすべてに○をつけ、
「7.その他()」の場合は、()内に具体的に記入してください。

- 1. 子どもの世話をしてくれる人がいない 2. 病気(病弱)で働けない
- 3. 職業訓練を受けたり、技術を修得中である
- 4. 収入面で条件の合う仕事がない 5. 時間について条件の合う仕事がない
- 6. 年齢的に条件の合う仕事がない
- 7. その他()

補問2 理由のうち最も大きな理由の番号を番号記入欄に記載してください。

番号記入欄

質問17 令和2年のあなたの世帯の年間総収入並びにあなたご自身の年間総収入及び年間就労収入の金額について、記入してください。

※ 年間総収入には、全ての収入（生活保護法に基づく給付、児童扶養手当等の社会保障給付金、就労収入（税金や社会保険料を含みます。）、別れた配偶者からの養育費、親からの仕送り、家賃・地代の収入等）を含んでください。また、詳細な金額が分からない場合は、概ねの金額で記入してください。

※ 全て記入してください。同額の場合も省略せずに記載してください。

※ 収入がない場合は、0円と記入してください。

※ 必ず、世帯の年間総収入 ≥ 自身の年間総収入 ≥ 自身の年間就労収入となるように記載してください。

金 額					
同居親族を含むあなたの世帯の年間総収入	約 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 万円				
うち、あなたご自身の年間総収入	約 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 万円				
うち、あなたご自身の年間就労収入	約 <table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 万円				

補問 あなたの現在の預貯金額（財形貯蓄、株式・債券等を含む）を記入してください。

約	<table border="1"><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					万円

質問18 あなたの現在の社会保険の加入の状況について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

ア 雇用保険

1. 加入している	2. 加入していない
-----------	------------

イ 健康保険

1. 被用者保険（協会けんぽ、組合健保、共済組合等）に加入している
2. 国民健康保険に加入している
3. その他
4. 加入していない

ウ 公的年金

1. 被用者年金に加入している
2. 国民年金に加入している
3. 加入していない

質問19 あなたは現在、生活保護、公的年金又は児童扶養手当を受給していますか。

ア 生活保護

- 1. 受給している
- 2. 受給していない

イ 公的年金

- 1. 受給している
- 2. 受給していない

補問1 受給している年金の種類としてあてはまるものに○をつけてください。

- 1. 遺族年金
- 2. 障害年金
- 3. 老齢年金

補問2 あなたの年金月額を記入してください。

約 千円

ウ 児童扶養手当

- 1. 受給している(全部支給)
- 2. 受給している(一部支給)
- 3. 受給していない

質問20 夫と離別した方又は未婚の方(質問5で2～6と答えた方)のみお答え下さい。
お子さんの父親との養育費及び面会交流の取り決めのことでおたずねします。

ア あなたは、お子さんの養育費のことで、だれか(どこか)に相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけ、「9.その他()」の場合は、()内に具体的に記入してください。

- 01. 親族
- 02. 知人・隣人
- 03. 養育費等相談支援センター
- 04. 県・市区町村窓口(母子・父子自立支援員、母子家庭等就業・自立支援センターを含む)
- 05. 母子・父子福祉団体
- 06. 弁護士
- 07. 家庭裁判所
- 08. NPO法人
- 09. その他()
- 10. 相談していない

補問 あてはまるもののうち、最も相談した相談先の番号を番号記入欄に記載してください。

番号記入欄

→

イ 養育費の取り決めの状況について、あてはまるものに○をつけてください。

1. 取り決めている

2. 取り決めていない

補問1 取り決めの方法について、あてはまるものに○をつけてください。

1. 文書あり [判決、調停、審判など裁判所における取決め、
強制執行認諾条項付きの公正証書]
2. 文書あり(その他の文書)
3. 文書なし

補問2 あなたが養育費の取り決めていない理由のうちあてはまるものすべてに○をつけ、「11.その他()」の場合は、()内に具体的に記入してください。

01. 自分の収入等で経済的に問題ないから
02. 取り決めの交渉がわずらわしいから
03. 相手に支払う意思がないと思ったから
04. 相手に支払う能力がないと思ったから
05. 相手に養育費を請求できることを知らなかったから
06. 子どもを引き取った方が、養育費を負担するものと思っていたから
07. 取り決めの交渉をしたが、まとまらなかったから
08. 現在交渉中又は今後交渉予定であるから
09. 相手から身体的・精神的暴力を受けたから
10. 相手と関わりたくないから
11. その他()

補問3 理由のうち最も大きな理由の番号を番号記入欄に記載してください。

番号記入欄 →

ウ あなたは、お子さんの面会交流のことで、だれか(どこか)に相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけ、「09.その他()」の場合は、()内に具体的に記入してください。

01. 親族 02. 知人・隣人 03. 養育費等相談支援センター
04. 県・市区町村窓口(母子・父子自立支援員、母子家庭等就業・自立支援センターを含む)
05. 母子・父子福祉団体 06. 弁護士 07. 家庭裁判所 08. NPO法人
09. その他() 10. 相談していない

補問 あてはまるもののうち、最も相談した相談先の番号を番号記入欄に記載してください。

番号記入欄 →

エ 面会交流の取り決めの状況について、あてはまるものに○をつけてください。

1. 取り決めている

2. 取り決めていない

補問1 取り決めの方法について、あてはまるものに○をつけてください。

1. 文書あり(調停、審判など裁判所における取決め)
2. 文書あり(その他の文書)
3. 文書なし

補問2 あなたが面会交流の取り決めていない理由のうちあてはまるものすべてに○をつけ、「13.その他()」の場合は、()内に具体的に記入してください。

- 01 取り決めの交渉がわずらわしいから
- 02 相手から身体的・精神的暴力や児童虐待があったから
- 03 相手と関わり合いたくないから
- 04 相手が面会交流を希望しないから
- 05 取決めをしなくても交流できるから
- 06 子どもの連れ去りや虐待の可能性があるから
- 07 子どもが会いたがらないから
- 08 相手が養育費を支払わない又は支払えないから
- 09 面会交流をすることが子どものためにならないと思うから
- 10 親族が反対しているから
- 11 取り決めの交渉をしたが、まとまらなかったから
- 12 現在交渉中又は今後交渉予定であるから
- 13 その他()

補問3 あてはまるもののうち、最も大きな理由を番号記入欄に記載してください。

番号記入欄

質問21 夫と離別した方又は未婚の方(質問5で2～6と答えた方)のみお答え下さい。

ア お子さんの父親からの養育費の受給の状況について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 現在も受けている

2. 受けたことがあるが
現在は受けていない

3. 受けたことがない

補問 「1. 現在も受けている」または「2. 受けたことがあるが現在は受けていない」と答えた方のみ、養育費の額を記入してください。

1. 月額 約

円

2. 決まっていない

イ お子さんの父親とお子さんとの面会交流の実施状況について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|--|----------------------|
| 1. 現在、面会交流
を行っている | 2. 過去に面会交流を行った
ことがあるが、現在は行っ
ていない | 3. 面会交流を行っ
たことがない |
|----------------------|--|----------------------|

▶ 補問1 面会交流の頻度のうち、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|--------------|---------------|--------|
| 1. 月2回以上 | 2. 月1回以上2回未満 | 3. 2～3か月に1回以上 | |
| 4. 4～6か月に1回以上 | 5. 長期休暇中 | 6. 別途協議 | 7. その他 |

▶ 補問2 お子さんの父親と面会交流の取り決めをしている方のみお答えください。
現在、面会交流を行っていない理由のうちあてはまるものすべてに○をつけ、
「11.その他()」の場合は、()内に具体的に記入してください。

- | |
|----------------------------------|
| 01 相手が養育費を支払わないから |
| 02 相手が面会の約束を守らないから |
| 03 子どもが会いたがらないから |
| 04 塾や学校の行事で子どもが忙しいから |
| 05 面会交流によって子どもが精神的又は身体的に不安定になるから |
| 06 相手に暴力などの問題行動があるから |
| 07 相手が面会交流を求めてこないから |
| 08 親族が反対しているから |
| 09 第三者による面会交流の支援を受けられないから |
| 10 相手が結婚したから |
| 11 その他() |

補問3 あてはまるもののうち、最も大きな理由を番号記入欄に記載してください。

番号記入欄

→

質問22 平成24年4月1日以降に夫と離別された方のみお答え下さい。

平成24年4月1日から離婚届書に養育費及び面会交流の取り決めの有無のチェック欄
が設けられています。あなたが離婚届書にチェックした内容について、あてはまるもの1つ
に○を付けて下さい。

ア 養育費の分担について

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 「取り決めをしている」の欄に
チェックした | 2. 「まだ決めていない」の欄に
チェックした |
| 3. チェックしていない | 4. 不明 |

補問 チェックしていない理由についてあてはまるもの1つに○をつけ、「3.その他
()」の場合は、()内に具体的に記入してください。

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. チェック欄があることを知らなかった | |
| 2. チェックが必須ではないから | 3. その他() |

イ 面会交流について

1. 「取り決めている」の欄に チェックした	2. 「まだ決めていない」の欄に チェックした
3. チェックしていない	4. 不明

↓
補問 チェックしていない理由についてあてはまるもの1つに○をつけ、「3.その他
()」の場合は、()内に具体的に記入してください。

1. チェック欄があることを知らなかった
2. チェックが必須ではないから 3. その他()

【お子さんの状況についておたずねします】

質問23 小学校入学前の養育しているお子さんがいる方だけ記入してください。

小学校入学前の養育しているお子さんの保育はどなたが行っていますか、お子さん
1人につき、最も長い時間預けている先を1つ選んで記入してください。

1. あなた自身	2. その他の家族	3. 親戚	4. 保育所	
人	人	人	人	
5. 幼稚園	6. 認定こども園	7. 保育ママ	8. ベビーシッター	9. その他
人	人	人	人	人

(注)小規模保育や事業所内保育は、「4. 保育所」に記入してください。

【福祉関係の公的制度についておたずねします】

質問24 あなたは下記の公的制度を利用したことがありますか、(ア)から(ノ)のすべてについてその利用状況であてはまるもの1つに○をつけてください。なお、「利用したことがない」のうち、「3.今後利用したい」と「5.制度を知らなかった」、「4.今後も利用するつもりはない」と「5.制度を知らなかった」は、重複回答を可能とします。

	1. 利用しているまたは利用したことがある		利用したことがない		
		2. 満足している	3. 今後利用したい	4. 今後も利用するつもりはない	5. 制度を知らなかった
(ア) 公共職業安定所(ハローワーク)	1	2	3	4	5
(イ) 市区町村福祉関係窓口	1	2	3	4	5
(ウ) 福祉事務所	1	2	3	4	5
(エ) 民生・児童委員	1	2	3	4	5
(オ) 児童相談所・児童家庭支援センター※1	1	2	3	4	5
(カ) 母子家庭等就業・自立支援センター事業※2	1	2	3	4	5
(キ) 母子・父子福祉センター	1	2	3	4	5
(ク) 母子・父子自立支援員	1	2	3	4	5
(ケ) 母子生活支援施設(旧母子寮)	1	2	3	4	5
(コ) 家庭児童相談室	1	2	3	4	5
(サ) 公共職業能力開発施設	1	2	3	4	5
(シ) 婦人相談所(女性相談センター)	1	2	3	4	5
(ス) 自立支援教育訓練給付金事業 ※3	1	2	3	4	5
(セ) 高等職業訓練促進給付金事業 ※4	1	2	3	4	5
(ソ) 高等職業訓練促進資金貸付事業 ※5	1	2	3	4	5
(タ) ひとり親家庭等日常生活支援事業 (家庭生活支援員(ヘルパー)派遣等)※6	1	2	3	4	5
(チ) 短期入所生活援助事業 (ショートステイ)※7	1	2	3	4	5
(ツ) 夜間養護等事業 (トワイライトステイ)※8	1	2	3	4	5
(テ) 配偶者暴力相談支援センター	1	2	3	4	5
(ト) 生活福祉資金	1	2	3	4	5
(ナ) 養育費等相談支援センター	1	2	3	4	5
(ニ) 子どもの学習支援※9	1	2	3	4	5
(ヌ) 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 ※10	1	2	3	4	5
(ネ) 生活困窮者自立支援制度 ※11	1	2	3	4	5
(ノ) 子供の未来応援国民運動ホームページ ※12	1	2	3	4	5

※1 児童家庭支援センター = 児童に関する家庭等からの相談のうち、専門的な知識・技術を必要とするものに応じ、必要な助言を行うなどの事業

※2 母子家庭等就業・自立支援センター事業 = 就業相談から就業支援講習会の実施、就業情報の提供等、一貫した就業支援サービスの提供や養育費の相談など生活支援サービスを提供する事業

- ※3 自立支援教育訓練給付金事業 = 事業実施主体である都道府県、市及び福祉事務所設置町村が指定した教育訓練給付講座を受講した母子家庭の母、父子家庭の父に対して、受講料の一部を支給する事業
- ※4 高等職業訓練促進給付金事業 = 母子家庭の母、父子家庭の父の訓練受講中の生活の安定を図るため、1年以上養成機関で修業する場合に、一定期間「高等職業訓練促進給付金」を支給し、生活費の負担を軽減する事業
- ※5 高等職業訓練促進資金貸付事業 = 高等職業訓練促進給付金を活用するひとり親家庭の親に対し、入学準備金・就職準備金を貸し付けて資格の取得を促進する事業
- ※6 ひとり親家庭等日常生活支援事業
(家庭生活支援員(ヘルパー)派遣等) = 母子家庭・父子家庭などにおいて疾病や冠婚葬祭等の社会的事由及び技能習得のための修学等自立促進に必要な事由により、日常生活に支障を生じたと認められるときに、その居宅等において乳幼児の保育、食事の世話その他の日常生活を営むのに必要な便宜を供与する制度
- ※7 短期入所生活援助事業
(ショートステイ) = 児童を養育している家庭の保護者が疾病などの理由により家庭において児童が一時的に養育を受けることが困難になった場合や緊急に保護を必要とする母子等を児童養護施設、母子生活支援施設などの児童福祉施設等に保護する制度
- ※8 夜間養護等事業
(トワイライトステイ) = 母子家庭・父子家庭などの保護者が仕事を終えて帰宅するまでの間、児童を児童養護施設などにおいて預かり、生活指導、食事の提供等を行う制度
- ※9 子どもの学習支援事業 = 自治体が学生ボランティア等を活用し、母子家庭・父子家庭の子どもに対し、学習支援を行う事業
- ※10 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 = 母子家庭の母、父子家庭の父が高等学校卒業程度認定試験合格のための講座を受講し、これを終了した際に受講費用の一部を支給する制度
- ※11 生活困窮者自立支援制度 = 生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施、住居確保給付金の支給その他の支援を行う制度
- ※12 子供の未来応援国民運動ホームページ = ひとり親世帯等への支援施策に関する情報を検索することができるホームページ

質問25 母子福祉資金制度についておたずねします。

(※ 母子福祉資金制度は、母子家庭に対して、生活の維持のために必要な費用や子どもの進学等に必要な費用等に充てるための資金を貸し付ける制度です。)

ア 母子福祉資金制度の利用状況についてあてはまるもの1つに○をつけてください。なお、「利用したことがない」のうち、「2.今後利用したい」と「4.制度を知らなかった」、「3.今後も利用するつもりはない」と「4.制度を知らなかった」は、重複回答を可能とします。

1. 利用しているまたは 利用したことがある	利用したことがない		
	2. 今後利用したい	3. 今後も利用するつもりはない	4. 制度を知らない
1	2	3	4

イ 母子福祉資金制度についてあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 満足である
2. やや不満である
3. 不満である
4. わからない

補問1 理由のうちあてはまるものすべてに○をつけ、「6.その他()」の場合は、()内に具体的に記入してください。

1.貸付金額が低い	2.貸付金の種類が少ない	3.貸付条件が悪い(償還期限、利率等)
4.借入手続きが繁雑	5.保証人がいない	6.その他()

補問2 あてはまるもののうち、最も大きな理由の番号を、番号記入欄に記載してください。

番号記入欄

--

【現在、あなたが困っていることについておたずねします】

質問26 お子さんに関する悩みについて、お子さん一人毎に、生年月を記入し、あてはまるものすべてに○をつけてください。
また、「10. その他」の場合は、「10.その他」欄に、お子さんに関する悩みを記入してください。
また、あてはまるもののうち、最もあてはまる番号を記載してください。

	生年月日	あてはまるもの すべての番号	10. その他の場合	最もあてはまる 番号
1	1. 平成 年 月生 2. 令和 年 月生	01. 02. 03. 04. 05. 06. 07. 08. 09. 10. 11.		
2	1. 平成 年 月生 2. 令和 年 月生	01. 02. 03. 04. 05. 06. 07. 08. 09. 10. 11.		
3	1. 平成 年 月生 2. 令和 年 月生	01. 02. 03. 04. 05. 06. 07. 08. 09. 10. 11.		
4	1. 平成 年 月生 2. 令和 年 月生	01. 02. 03. 04. 05. 06. 07. 08. 09. 10. 11.		
5	1. 平成 年 月生 2. 令和 年 月生	01. 02. 03. 04. 05. 06. 07. 08. 09. 10. 11.		
6	1. 平成 年 月生 2. 令和 年 月生	01. 02. 03. 04. 05. 06. 07. 08. 09. 10. 11.		

01.しつけ 02.教育・進学 03.就 職 04.非行・交友関係
05.健 康 06.食事・栄養 07.衣服・身のまわり 08.結婚問題
09.障害 10.その他 11.特に悩みはない

質問27 あなたが困っていることについて、あてはまるものすべてに○をつけ、「7.その他()」の場合は、()内に具体的に記入してください。

1. 住居について 2. 仕事について 3. 家計について 4. 家事について
5. 自分の健康について 6. 親族の健康・介護について
7. その他() 8. 特にない

補問 あてはまるもののうち、最も困っている番号を番号記入欄に記載してください。

番号記入欄 →

質問28 お子さんの進学はどこまでを考えていますか、あてはまるもの1つに○を付けてください。

1. 中学校 2. 高校 3. 高等専門学校 4. 短大
5. 大学・大学院 6. 専修学校・各種学校 7. その他

質問29 あなたの最終学歴について、あてはまるもの1つに○を付けてください。

1. 中学校 2. 高校 3. 高等専門学校 4. 短大
5. 大学・大学院 6. 専修学校・各種学校 7. その他

【相談相手についておたずねします】

質問30 あなたの相談相手について、あてはまるもの1つに○を付けてください。

1. いる 2. 欲しい 3. 必要がない

補問1 「1. いる」と答えた方のみ、その相談相手について、あてはまるものすべてに○をつけ、「8.その他()」の場合は、()内に具体的に記入してください。

1. 親族 2. 知人・隣人 3. 母子・父子自立支援員等
4. 母子・父子福祉団体 5. 公的機関(母子・父子福祉センター、福祉事務所等)
6. NPO法人 7. 任意団体 8. その他()

補問2 あてはまるもののうち、最も相談している相談先の番号を番号記入欄に記載してください。

番号記入欄 →

ご協力ありがとうございました